

企業の採用広報開始から 2 カ月。2025 年卒学生の就職活動はどのように進んでいるだろうか。5 月 1 日現在のキャリタス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、内定率は 7 割を大きく超えていたことがわかった。

内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 5 月 1 日時点の内定^(※)状況

- 内定率は 76.9%。前年同期実績 (70.2%) を 6.7 ポイント上回る
- 就職活動終了者は全体の 42.2%。継続者は「内定あり」「内定なし」を合わせて 57.8%

2. エントリー状況、選考試験受験状況

- 一人あたりのエントリー社数の平均は 23.9 社。前年同期調査 (23.2 社) をやや上回る
- ES 提出社数、筆記試験は減少傾向。面接社数は微増 (平均 7.4 社→7.6 社)

3. 未内定学生の見通し

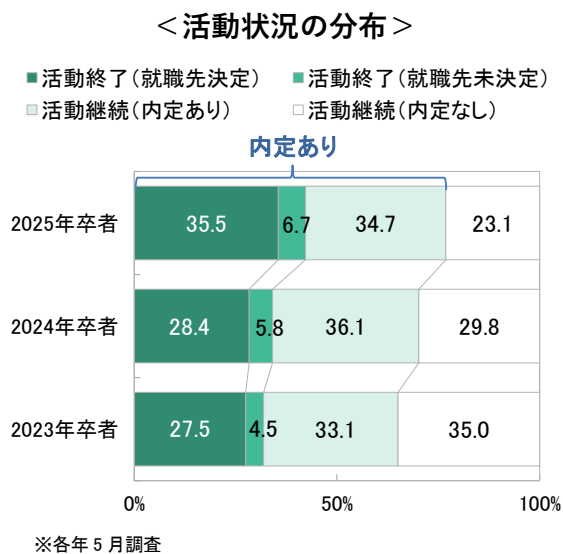
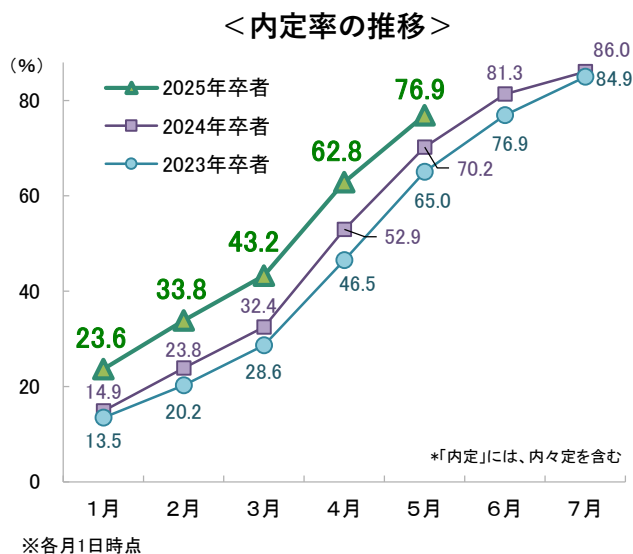
- 「内定獲得の見通しが立っている」17.5%。未内定者の大半はこれから

※「内定」には、内々定を含む

1. 5 月 1 日時点の内定状況

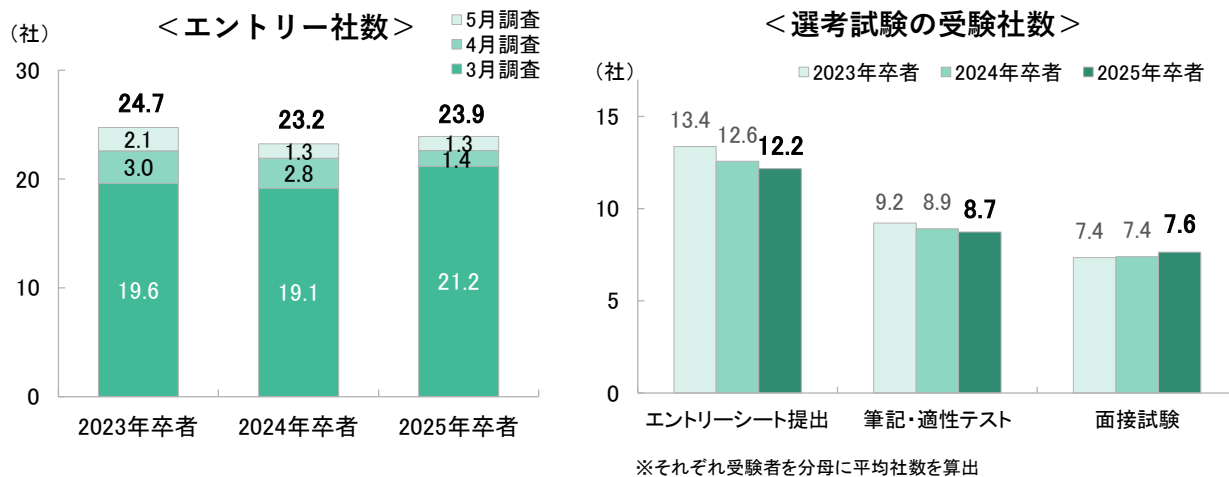
5 月 1 日の調査時点で内定を得ている学生は全体の 76.9%。4 月調査 (62.8%) からの 1 カ月間に 14 ポイント余り上昇し、7 割台後半に達した。前年同期調査 (70.2%) を 6.7 ポイント上回り、引き続き早いペースで進行していることがわかる。ただ、3 月以降、前年同月との差は徐々に縮まってきている (10.8 ポイント差→9.9 ポイント差→6.7 ポイント差)。

調査時点で就職先を決定して活動を終了した者の割合はモニター全体の 35.5%。活動を終了したもの、複数内定保留など未決定である者は 6.7%。活動継続者は「内定あり」(34.7%)、「内定なし」(23.1%) を合わせて 57.8%。



2. エントリー状況、選考試験受験状況

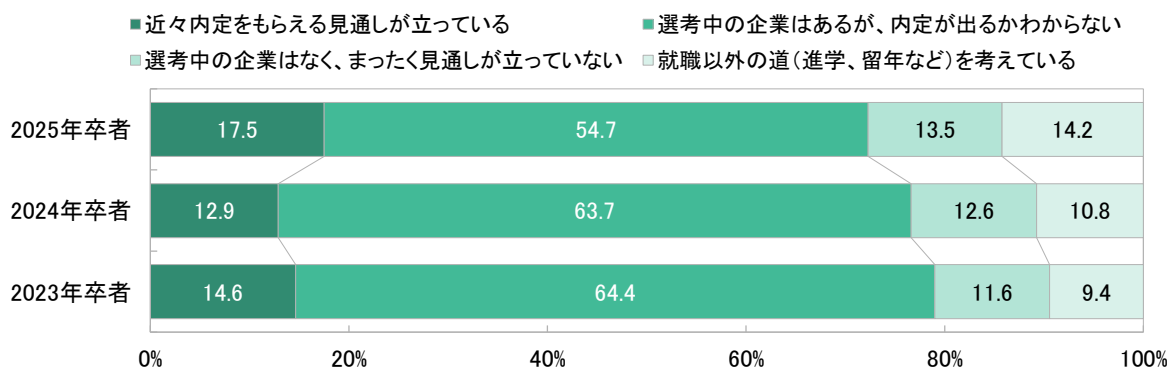
一人あたりのエントリー社数の平均は23.9社。この1カ月での増え幅は1.3社で、月を追うごとに新規エントリーのペースは鈍化しているが、前年同期をやや上回る水準を維持している。一方、ES提出社数や筆記試験の受験社数は減少傾向が認められる。早くから内定を得る学生が多かったことで、本選考応募社数の減少につながったと見られる。面接に関しては微増した(7.4社→7.6社)。



3. 未内定者の見通し

調査時点で内定を得ていない学生に、内定獲得の見通しを尋ねた。「近々内定をもらえる見通しが立っている」は17.5%で、よい感触を得ている学生の割合が前年(12.9%)よりも増えた。ただ、最も多いのは「選考中の企業はあるが、内定が出るかわからない」(54.7%)。ここに「選考中の企業はなく、まったく見通しが立っていない」(13.5%)を足し合わせると68.2%になり、未内定者の約7割はまだこれからといった状況だ。

<未内定学生の内定を得る見通し>



調査概要

- 調査対象：2025年3月に卒業予定の大学4年生(理系は大学院修士課程2年生含む)
- 回答者数：1,185人(文系男子314人、文系女子412人、理系男子294人、理系女子165人)
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2024年5月1日~7日
- サンプリング：キャリアタス就活 学生モニター2025
- 調査実施：株式会社キャリアタス/キャリアタスリサーチ